

ペリカン目トキ科

トキ

Nipponia nippon (Temminck, 1835)

島根県：絶滅 (EX)

島根県固有評価：－

環境省：野生絶滅 (EW)

【選定理由】

島根県内にも、過去においてトキが生息していたが、昭和初期に絶滅してしまった。

【概要】

トキは古くは日本全国に生息していたが、1870年代には乱獲などにより各地で数を減らした。1934年に天然記念物に指定され、1952年に国の特別天然記念物に指定されたが、この時点では能登半島と佐渡島にわずかに生息するのみで、すでに絶滅寸前の状態となっていた。1967年、新潟県は佐渡トキ保護センターを建設し、野生のトキへの給餌や飼育個体での人工繁殖を試みた。その後、1976年に環境庁が人工繁殖に取り組むことを決め、1981年には、最後に残っていた5羽の野生のトキを捕獲し、人工繁殖を本格的にスタートさせた。1999年に初めて人工繁殖に成功したが、2003年に日本産最後のトキが死亡した。その後は、中国産トキによる人工繁殖によりその数を増やし、2007年には国内飼育下のトキが100羽を超

え、2008年には佐渡島で10羽を放鳥し、以後、毎年放鳥が続けられている。また、2008年に分散飼育実施地として石川県、出雲市、長岡市の3カ所が決まり、出雲市では2011年より飼育を開始している。

【県内での生息地域・生息環境】

昭和の初期から中ごろには、隠岐諸島全域に多数生息していたが、狩猟圧などにより急激に減少した。最後の確認は1937年の西ノ島美田地区であるが、1939年の聞き取り調査では、まだ4～6羽が生息していたとの記録が残っており、絶滅は1945年と考えられる。

【存続を脅かした原因】

人口増加や社会の変化に伴うトキの生息環境(採餌地、営巣地など)の消失、狩猟圧、農薬汚染によるエサの減少など。

生息地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	
			×					×		×	×				×	×						

鳥類

絶滅
野生絶滅

絶滅危惧Ⅰ類

絶滅危惧Ⅱ類

準絶滅危惧

情報不足